

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年6月29日 No. 15 文責：佐野紳二

草刈り作業へのご協力ありがとうございました

25日(土)の早朝の実施した校庭と通学路の草刈り作業には、多くの保護者の皆様と各地区の協議体の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。早朝とはいえ、この日は最高気温が35℃を超える暑い日だったので、朝の7時前後でもかなり厳しい暑さの中での作業となりました。しかし、ご協力をいただいた皆様の精力的な活動により、作業を終える頃には通学路にかかっていた草や、校庭南側の伸びていた草もほとんど気にならないくらいになりました。改めて学校教育が多くの人に支えられて成り立っていることを感じました。

子どもたちにも今回、多くの方が草刈り作業に協力して下さったことを伝えるとともに、地域の皆様や保護者の皆様への感謝の気持ち、地域を愛し、誇りに思う気持ちを育てていきたいと思えます。



「協議体」とは？

(地区情報「かみみやじ」より、一部抜粋および改変してあります)

地域には、1人暮らしの方や高齢者、身体が不自由な人が住んでいます。これらの方々には「ごみが出せない」「草刈りができない」等、困ることが多くあります。そこで、隣近所や地域で支え合う必要があることから、市役所福祉課や市社協と連携し、子どもからお年寄りまでを「皆で支えあい」「この地区に住んでよかった」「いつまでも住みたい」を目標に活動しています。

小中合同あいさつ運動

27日と28日の両日、櫛形中学校の生徒(本校の卒業生です)代表者が、櫛形北小にあいさつ運動に来てくれました。コロナ禍でもあり、不審者情報も流れる中でしたが、そんなことを忘れてしまうくらいの爽やかな「おはようございます」

のあいさつが、朝の玄関前に響きました。中学生が来てくれて行う小中合同あいさつ運動は、今やすっかりお馴染みの取組になってきました。こうした取組の継続により、小学校と中学校の交流が少しずつ(でも着実に)深まっています。



梅雨が明けました

今週の月曜日（27日）、気象庁から「山梨県を含む関東甲信、東海、それに九州南部が梅雨明けしたとみられる」という発表がありました。私が見たニュースの中では、気象予報士の方が「関東甲信地方の梅雨明けは過去最も早い」と言っていました。早速、気になったのでちょっと調べてみました。

- ▽ 今年の梅雨明けは、平年と比べると関東甲信で**22日早い**。
- ▽ 今年の梅雨明けを去年と比べると、関東甲信で**19日早い**。
- ▽ 今年の梅雨の長さは21日間で、**これまでで最も短い**。
- ▽ 21日間のうち、雨が降ったのは約半分の**10日**。
- ▽ 関東甲信地方でこれまでに最も早かった梅雨明けは、統計を取り始めた昭和26年以降では2018年の6月29日。逆に一番遅かったのは、1982年で8月4日。
- ▽ 今年の梅雨の時期の降水量は、**平年の約75%**（意外と多い？）
- ▽ 梅雨の時期に最も降水量が少なかったのは、1990年で平年の50%

雨が嫌いな人にとっては、梅雨明けはウェルカムなのでしょうけれど（私もどちらかというと梅雨明けは嬉しい方ですが）、今年はちょっと早すぎるかなあ〜というのが正直な感想です。そして、梅雨が明けた途端、とにかく暑い！6月の猛暑日はあまり歓迎できません。

学校では例年、7月に入ってから教室のエアコンを使い始めますが、今年は先週中に試運転を行い、今週に入ってから毎日午前中から（時には朝から）エアコンを使用しています。最近の電気料金の高騰もあり、節電は心がけていますが、子どもたちの健康を最優先し、暑さを我慢しないようにしています。他にも、WBGT（熱さ指数）の値が高いときには外遊びや体育を控えるようにしたり、登下校時や体育の時間、休み時間に外遊びをするときにはマスクを外すことを推奨したりしています。その他には、長時間炎天下にいることを避けるため、7月中は集団下校を行わず複数下校にします（集団下校を行う午後3時くらいがWBGTの値が最も高くなるため）。



熱中症を予防するためには、こまめに水分や塩分を摂ること、毎日の睡眠をしっかりとること、バランスのよい食事をする（特に朝ごはんは大切）などが大切だと言われています。また、衣服を調整することも大切で、通気性のよいものや、吸水性・速乾性にすぐれた肌着を着用するとよいそうです。

高学年の中にはファッション性を重視して（かな？）、暑い日にも厚手のパーカー等を羽織ってくる子も見かけることがあり、ちょっと心配になります。

今年は暑い夏が長く続きそうな予感がしています。適切な熱中症対策をしながら、子どもたちが健康に過ごすことができるよう学校でも声掛けを行っていきます。

教育実習に来ています

月曜日から2年1組に、本校の平成26年度の卒業生、渡邊岳史（わたなべ たくし）さんが教育実習に来ています。渡邊さんは現在、大学で食物や栄養学について学んでいて、将来は栄養教諭になることを目標にしているそうです。実習の期間は1週間と短い期間ですが、その間、各学年の授業を見たり、先生方の話を聞いて学習したり、所属している2年1組で研究所業を行ったりと、ギュッと詰まった時間を過ごしてもらっています。2年1組以外の子どもたちも、渡邊先生を見かけたら積極的に声をかけてみてくださいね。

